



対人関係やコミュニケーションに課題を感じている高等学校学齢相当のお子さん自身が発達特性、強み・弱みをより具体的に理解し、自身に合った支援や環境的配慮をご本人の関わる周りの環境に発信し、日常的に行えることを目標にしたご本人支援のためのプログラムです。

発達支援	健康・生活	- ご本人がスムーズに生活（スケジュール把握・切替など）できるように具体的な手段を検討します。 - 健康状態を把握し、ご本人なりに理解を進めていけるよう必要に応じて記録などを活用していきます。 - 生活スキル（掃除の仕方や調理の方法、身だしなみなど）についてもご本人に合った工夫やスキルを職員と検討して取り組みます。	
	運動・感覚	- プログラムの中で体を動かす時間を設定します。 - 軽作業や清掃など行う際には本人にとって理解して取り組みやすい手順やルールなどを設定し活動します。また、設定する活動内容や提示するルールはご本人の感覚や認知の特性を考慮して提供します。 - 例：手順やルールを文字などで視覚的に示す	
	認知・行動	- 集団で行う活動の場面において、手順やルールなどを設定し活動します。 - 活動を通して、自分の得意なこと苦手なことを理解できるようサポートします。 - 例：手順やルールを視覚的に示して共有する、活動後に職員と振り返りを行う	
	言語・コミュニケーション	- 集団や職員とのコミュニケーション場面を設定します。 - 一人ひとりに合わせて、どのような方法が自分にとって理解しやすいか、伝えやすいかなどを探っていきます。 - 例：適切なコミュニケーション方法を職員と確認する 文字などを活用し伝えやすい方法を職員と検討する	
	人間関係・社会性	- 集団でゲームなどの活動を行う時間を設定します。 - また、必要に応じて集団で活動するうえで必要な手順やルールをお伝えします。 - 定期的に職員と活動について振り返る時間を設定します。 - 自分の得意なことや苦手なことについてご本人が理解できるよう検討します。 - 例：集団の中でのルールや手順を視覚的に示す、振り返りのシートを用いる	
移行支援		- 活動の中で気付いたご本人の特性について職員とご本人とで一緒にまとめていきます。 - 本人やご家族の意向を踏まえながら、進路などに関する情報について、職員より本人、保護者に提供します。 - 本人の特性やニーズなどを環境の変化の際に保護者が本人のことを移行先の機関へより伝えやすくなるよう、豊中市の「支援手帳」について情報提供します。保護者が記入するうえでわからないことがあれば職員がサポートします。	
家族支援		個別に保護者との面談の機会を設定し、hoop での過ごし方を通して、本人の課題や得意なこと/強みなどについて、職員より保護者へ情報提供をします。	
地域支援		本人にかかわる地域の関係者、関係機関との連携のために、hoop や家庭、地域生活などのそれぞれの本人の行動について、職員より各機関へ情報共有する機会を設定します。	